



CONEXPO 2011 開催

～コネスポに想うこと～

第85号

発行所 酒井重工業株式会社
 住所 東京都港区芝大門1-4-8
 電話 03-3434-3401
 FAX 03-3434-3419
 発行人 加藤 孝

今年のコネスポ（CONEXPO 建設機械展示会）は、東日本大震災発生から11日目となる3月22日から開催された。日本では未だ余震の続く大混乱の最中で、日本からの訪問予定者の中には中止された方も多かった。

さて、コネスポは3年毎にアメリカのネバダ州ラスベガス市で開催される世界3大建設機械展示会の一つである。他の2大展示会は、ドイツのミュンヘン市のバウマ（BAUMA）、フランスのパリ市のインターマット（INTERMAT）である。これらの展示会は民間のイベント専門会社によって経営されるためか、どこも盛況で、最近では中国とインドでも開催されている。



会場の全景



SAKAIの展示ブース

今年のコネスポは、いつもの展示会と意味合いが少々異なる。2008年秋に発したリーマンショックによる大不況のショックが残る北米での開催のため、日欧米の建機各社は出展すべきか悩んでいた。事実、昨年欧州で開催されたバウマ展示会ではローラの老舗であるダイナパックを擁するアトラス・コプロ・グループが出展を取りやめた。結局、各社は資源国を中心とする新興国市場の景気回復を睨んで出展を決めたようである。一方、中国の建機メーカーの元気の良さは相変わらず凄まじい。投資効果の如何は知らないが、用地面積とブース建屋の規模、みやげ品などの物量作戦には恐れ入る。ブース中央に設営した舞台での派手なエンターテイメントによる客寄せ手法は、バブル時の欧米メーカーの常套手段であったが、今やすっかりお株を奪っている。彼らは、苦悩する欧米メーカーを尻目に、好立地条件の用地を占有し、大々的に宣伝営業を展開していた。

ラスベガスはご存知の通り、ギャンブルの街。宿舎のカジノホテルでは24時間、騒音を発するスロットマシンやルーレット等に客が張り付いて、賭け事にハマっている。週末になるとチェックインに長い行列ができる。若い女性達は普段ではとても着ないような、派手で露出度の高いコスチュームに身を包む。公共の場における喫煙や飲酒行為に対して非常に厳しいアメリカなのにまるで無法地帯のよう。夜中には酔っ払い達の嬌

声と罵声がホテルの上階までこだまするなど、日頃のウップンを一気に解消しているのかと思わせる。

コネスポの規模であるが、機材製造業協会（AEM）の公式発表によると登録者は12万人、出展社数は2400社、敷地面積は22万平米である。訪問者は歴史的に中南米とヨーロッパが多いが、今回はアジアとアフリカからの訪問者が増え、国数では合計150ヶ国に及ぶという。一方、SAKAIのブースの来場者は合計約3000名であった。施工会社関係、代理店、部品メーカ、政府関係者、研究機関、報道関係者の方々が初日から3日目に集中して来訪された。日米の混成チームからなる10数名の係員には目が回る忙しさとなった。



受付嬢による訪問客の登録



CISのデモ説明

全体的には出展された建機に目新しいものはなく、むしろ目玉は新しい4次排出ガス規制適合のディーゼルエンジンであろう。130～560kWの出力帯のエンジンの規制は、欧米では今年1月（日本では今年10月）から始まった。それ以下の出力（56～130kW）エンジンも来年1月から適用開始される。（4次排ガス規制の新情報は今年のSAKAI NEWSで特集予定）。4次エンジンでは3次エンジンの本体仕様を変えずに、後処理装置を付加して排ガスをクリーンにする方式が多い。後処理機器類の開発、それらとエンジンの相互仕様の調整、さらには新エンジンと搭載重機との仕様調整という従来の開発に比べての数倍の確認作業が要る。このため、各建機メーカは新製品の開発はおろか、各地域の規制時期に間に合わせるべく新エンジンの搭載に苦戦中である。しかも、これらの新型エンジンを搭載した重機の販売は景気の回復の遅い先進国市場に限定され、成長著しい新興国は粗悪燃料の為に販売できない。先進国市場の元気が依然として出ない中、開発コストと時間が膨大にかかるので、建機のメーカの悩みは尽きない。

今回のSAKAIの展示品の目玉はローラの締固め管理機器（CIS）、切削機（ER552F）、スタビライザー（PM550）、水平振動ローラ（SW770ND）であった。舗装用ローラ5機種、土工用ローラ3機種、小型機械8機種などを含め、合計18機種を展示した。

日本の情報化施工でも使われているCISは、2008年からアメリカの高速道路庁（FHWA）が主導推進するIntelligent Compaction（IC）試験プロジェクトで検証されてきた。今回、地上係員が締固め情報（転圧回数、温度など）をiPhoneでモニター監視できるシステムを初めて参考出品した。従来品では、締固めの管理情報はローラに搭載されるパソコン画面に表示されるので、品質管理者や発注者などの地上係員が確認する場合、ローラに搭乗する必要がある。大規模現場ではローラを探してモニターで確認することは、事実上、困難である。訪問された政府関係者からは製品化を期待する言葉と今後の製品開発へのアドバイスを頂いた。

タイヤ式切削機（ER552F）をコネスポに初めて出展した。これは日本では一般的な製品であるが、海外では全く流行らない。いわゆる「ガラパゴス化」的商品であるが、ドラムのサイドシフト機能、高速自走回送、機動性などの機能とコスト的な利点を生かし、商機は十分ありと読んで持ち込んだ。しかし、昨年中頃からの急激な円高によって、ドル換算価格は現地の価格水準を大幅に上回り、強い逆風となった。同時に初出展した

スタビライザー (PM550) も然りである。コネスポにおけるビジネスは成立しなかったが、SAKAI にとっては新しいチャレンジの始まりとなった。特に、従来の舗装業者と代理店を中心とする顧客層に加えて、切削業および路盤・土質改良業者等の新規顧客層を集客した。苦労した点は、製品特徴である切削ドラムのサイドシフト機能とその利点をユーザにいかに関心してもらったかであった。切削機の世界標準はクローラ (キャタピラ) 式であり、これらにはドラムのサイドシフト機能と高速回送などの機能がない。彼らの常識との違いを示し、その優位性を理解してもらうのは容易な事ではない。しかし、業界のプロ達は展示機の横で流していたプロモーションビデオとモノを暫く見ているうちに、なるほどと膝を叩いていた。



タイヤ式切削機 ER552F の商談風景



機動性を評価されたスタビライザーPM550

新型の水平振動ローラ (SW770ND) に対する舗装業者の関心は期待以上に高かった。アメリカでも道路予算の削減に伴い、補修工事の割合が増えると共に舗装厚さも薄くなっている。アメリカの舗装工事では振動ローラを常用するが、薄層施工では骨材となる砕石が割れないように振動転圧を禁じたり、水平振動を推奨している。SAKAI はこれらに対応すべく、日本でも馴染みのタンデム振動ローラ (SW652ND、7t、転圧幅 1.5m) やマカダム (R2 の重量型、13t) を北米に投入してきた。今後、幅広 (1.7m) 型の SW770ND は、高速道路などの大規模工事への適用が期待される。

SAKAI の小型締固め機械販売は、北米でも長い歴史があるが、昨年よりサカイアメリカ (現地法人) が販売を開始した。ランマ、プレート、ハンドガイド、小型搭乗型ローラが主力である。

今回のコネスポのポイントは、北米におけるリーマンショック後の経済および建機市場の立ち直しと、成長の続く中国建機メーカーに対して苦悩する日欧米メーカーとの対局の構図を見極めた事であろうか。

SAKAI にとっての収穫は、まず、切削機とスタビライザーの初出展によって新たな顧客層とビジネスの可能性を見出したこと。次に、ローラの締固め管理機器 (CIS) に対しアメリカの政府関係者と施工業者から製品に対する熱い期待と今後の製品開発へのアドバイスを頂いた点。さらに大型の水平振動ローラに対する強い市場要求を確認した点などであろう。

おわりに、震災直後の大変な時期にも拘わらず、SAKAI のブースをご訪問頂いたお客様を始め、展示の準備と運営にご協力頂いた関係者の皆様に対し、本紙を借りて心より感謝申し上げます。多くの訪問客の方々より、地震の被害、社員家族とその関係者の安否を尋ねられ、励まされました。重ねて御礼する次第です。

【 取締役事業推進部長 月本行則 記 】

ある町この道 シリーズ⑪ ～千葉の県道34号線（長狭街道）～

東京から一番近い棚田“大山千枚田”

大山千枚田は、房総半島のほぼ真ん中にあり、起伏が多く、平坦な土地が少ない山間部の山の斜面を開墾して作られた田んぼです。標高90～150mの斜面に、大小様々な375枚の水田が階段状に連なり、貴重な文化的景観を今もなお見ることができます。

平成9年に「大山千枚田保存会」が結成されると同時に棚田の保存と活用への取り組みがスタートして、平成11年に農林水産省の「日本の棚田百選」に認定されました。

現在、地元農家の協力により「棚田オーナー制度」が導入され、都会の人への農業体験を通じ地域の活性化と里山の美しい景観、自然保護が受け継がれています。

うっとり梅雨の時期、日本で唯一雨水だけが頼りの田んぼに天水が恵みを運んで来ます。



What is this? ～ペーパークラフト～

皆様、弊社のホームページにペーパークラフトのコーナーがあるのを御存知でしょうか。マニアの間では意外に人気があるんですよ。現在大型から小型まで11機種がエントリーしています。簡単そうに見えますが、綺麗に組み立てるには結構大変なようで、担当者いわく、当初はカット作業が続くので1に根気2に根気3、

4がなくて5に根気だそうですが、だんだん

出来上がってくると俄然テンションが

上がって楽しくなります。出来上がった時の達成感は何ともいえず、

プハーッ！ビールが旨い!!と

なるようです。

こつは、①必ず専用の用紙を使うこと、②インクのなくなった細めのボールペンでしっか

り折り目をつけること、③紙工作用

ボンドを使うこと。道具はカッター、

ピンセット、爪楊枝、定規などを準備して

下さい。Web でペーパークラフトを探すともっと凄いものも沢山あり、奥の深い世界が広がっています。PDF

データを開いて専用用紙に印刷するだけで始められますので、是非トライして見て下さい。

